

かながわ人生100歳時代ネットワーク

「この指とまれプロジェクト」

提案募集のご案内について

※常時受け付けています。

はじめに

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、人とのつながりの希薄化など様々な社会的課題が浮き彫りになりましたが、一方で、日常的な感染防止対策が浸透し、さらに、テクノロジーを活用したテレワークやオンライン会議の進展により、「新たなつながり」が生まれるなど、コロナ禍における新しい価値への「気づき」もあります。
- そこで、「この指とまれプロジェクト」では、**Withコロナ時代における様々な課題に対応した提案プログラム（解決に向けた取組）**を募集いたします。
- メンバー同士の多くの連携・協力が生まれ、ネットワークの活動が活発化する様々な御提案をお待ちしています。

「この指とまれプロジェクト」とは…

かながわ人生100歳時代ネットワーク（以下「ネットワーク」という。）のメンバーが、社会、地域、県民に貢献するプログラムを企画・提案し、そこにネットワークメンバーが協力して、プログラムを実施（自走）していくことを目的としています。

提案条件

目指すゴール	○コミュニティの再生・活性化、多世代交流の促進、社会参加の促進、人と人とのつながりづくり、生きがいつくり、健康増進等
提案プログラム内容	○Withコロナ時代における様々な課題に対応した提案プログラム (課題解決に向けた取組み)
プレゼン内容の構成	○ 団体概要 ○ 事業の概要 (概要、実施場所、コロナ対策、経費) ○ 事業の期待する効果 (課題設定→取組→効果) ○ 対応するSDGsのゴール (17項目) ○ 連携を期待するリソース (財政面、場所、人脈、スキル等) ○ 事業のスケジュール ○ ネットワーク団体へのメッセージ
参画者	○ 提案者 + 参画者1者以上 = 2者以上

事業の流れ

提案募集

- ・プログラムの提案は**常時募集**しています。
- ・提案書を事務局までご提出ください。
※提案書のフォーマットは県HPに掲載しています。

プレゼン

- ・**毎月10日**までにご提出いただいた提案については、原則、同月開催の定例意見交換会でプレゼンの場を設けさせていただきます。
※プレゼン時間は5～8分程度

プロジェクト スタート

- ・プレゼン後は、マッチングに向けて調整（提案者からネットワーク団体への働きかけ、もしくはネットワーク団体からの申し出）し、マッチング成立後、プロジェクトをスタートしていただきます。

成果報告

- ・プロジェクト終了後は、実施報告書を事務局までご提出いただき、また直近の定例意見交換会で成果を報告していただきます。
※実施報告書のフォーマットは県HPに掲載しています。

(参考) 「この指とまれプロジェクト」の流れイメージ

① 提案

【提案者】：A団体

【内容】：地域で活躍しているシニア（人生の達人）にスポットライトをあて、そのような方々取材し冊子としてとりまとめ、県民に広く発信し、生きる上での参考としていただきたい。

② プレゼン

ネットワーク団体



A団体

定例意見交換会

③ 協力団体募集

C団体

・冊子編集、企画協力
・広報、周知協力

B団体

・地域人材の紹介

D団体

・地域人材の紹介



A団体

⑥ 成果報告

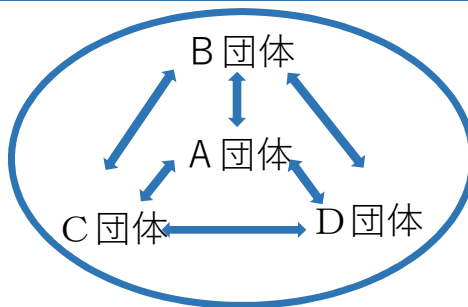
ネットワーク団体



A団体

定例意見交換会

⑤ プログラムの実施



④ マッチング

【提案者】：A団体

【協力者】：B団体
C団体
D団体